RE102の変更によるMIL-STD-461Gへの影響

Steve Ferguson

はじめに

MIL-STD-461G は 2015 年 12 月に発行され、ユーザーの質問や解釈を促すためドキュメント全体に多くの変更が加えられている。一般的なガイダンスでは特定の状況判断を必要とするような実験室の状況が発生し、RE102 など最も一般的な検査が含まれている。ユーザーはすぐに、与えられた方向性が特別な場合には意味をなさないことに気づき、規格から逸脱する必要があると理解できる。

通常、試験規格の逸脱は試験手順で文書化され、試験手順の承認は代替試験の方法を支持する。承認された試験手順書がない場合は、試験報告書に逸脱を文書化する必要があり、このやり方に承認機関が同意してくれることを期待する。デバイスの認定が自己資金による開発であり、明確な承認方法が定義されていない場合、この状況はさらに困難になる。

規格委員会は、特定の要素が存在する理由と、それらの要素が試験の目的と実際の状況にどう関連しているかを、附属書で読者に知らせるという役割をきちんと果たしている。だが可能性のある状況全てに対応するのは無理である。

この記事では、RE102 の変更点を確認するとともに、関連する影響について説明する。説明は必ずしも明確ではないが、対応方法にたどりつく際に考慮すべき要素を提供できるだろう。考慮する影響の一部は、規格の RE102 セクション外であることに注意すべきである。